

## 取扱ツアー



実績と信頼の  
国内パッケージツアー  
「メイト」



多彩なプランと快適な  
海外パッケージツアー  
「ホリデイ」



驚きの価格でお得なコースの  
海外旅行を提供する  
インターネット専用プラン  
「Clicky」



訪れた地での幅広い過ごし方を  
提案、紹介するサイト  
「旅の発見」  
<http://tabihatsu.jp>

## 弊社サイトのご案内



旅行プランのオンライン検索・予約のほか、  
充実した関連サービスをお届けしています。

<http://www.knt.co.jp>



会社案内・IR情報ページでは、  
経営情報、各種IR情報をご覧いただけます。

<http://www.knt.co.jp/kouhou>

### 免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。



# knt!

近畿日本ツーリスト株式会社

## 株主通信

第73期 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

### INDEX

株主の皆さまへ	1
事業別の概況	3
TOPICS	4
「!」を創造する舞台裏	5
連結財務諸表	7
企業理念/ブランドステートメント/会社概要	9
株主メモ	10

## 株主の皆さまへ



代表取締役社長

吉川 勝久

株主の皆さまには平素格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成22年12月31日をもって第73期の決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

### 事業の概況 (平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)

当期のわが国経済は、依然として雇用情勢が厳しい状況にあり、個人消費についても大幅な改善は見られず、本格的な景気回復には至りませんでした。

旅行業界におきましては、海外旅行を中心に持直しの傾向が現われてまいりましたが、力強い回復を見ないまま推移しました。

このような情勢のもと、当社は中期経営計画に基づき、販売構造の革新を鋭意進めるとともに、大型イベント関連需要の獲得に向けて積極的な取組みを行いました。「平城

遷都1300年祭」においてはイベント運営の受託とあわせ関西方面商品の販売拡大に力を注ぎ、「上海国際博覧会」においては日本産業館に参加するとともに営業活動を推進いたしました。

団体旅行事業におきましては、「バンクーバー冬季オリンピック」では日本代表選手団や選手応援ツアーなどを取り扱い、「FIFAワールドカップ南アフリカ大会」では企業の招待旅行などの販売に努めました。教育旅行市場においては、スポーツ・文化イベント等をはじめとした需要の取込みに注力してまいりました。なお、当期から北海道、九州地区を分社し、より地域に密着した営業を進める体制を整えました。

個人旅行事業におきましては、不採算店舗等71店舗を閉鎖し経営効率を高める一方で、インターネット販売の拡大に向けて、商品の充実、宣伝の強化、要員の増強といった施策を実施いたしました。

また、訪日旅行を中心とした中国、アジアでの旅行需要を獲得するため各地に拠点整備を進め、上海に近畿国際旅行社（中国）有限公司の支店（2月）、タイに現地法人（5月）、香港に現地法人（6月）を、さらに訪日旅行の受入会社として日本に株式会社KNT ASIA（12月）をそれぞれ設立いたしました。

費用面におきましては、年金制度改革を実施するなど、諸経費の削減に努めました。

これらにより連結・個別とも黒字転換を果たしたものの、財務基盤の強化を図るため、期末配当は見送らざるを得ない状況でございます。株主の皆さまには、深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、当社グループの業績は、次のとおりです。

	業績（百万円）	前期比
営業収益	63,544	1.2%増
営業利益	1,636	—
経常利益	1,571	—
当期純利益	314	—

### 対処すべき課題

今後につきましては、足もとの景気動向は依然不透明なままで推移しており、お客さまの購買チャネルの多様化や業界内競争の激化もあって、予断を許さない状況が続くと予想されます。そのような中、当社では、顧客ニーズと市場の変化に柔軟に対応し、効率性を高めて利益を確保することで、経営基盤の確立を目指していきます。

団体旅行事業におきましては、法然上人800年、親鸞聖人750年の遠忌法要の参拝旅行を成功に導くとともに、各種イベントの需要獲得を図ります。またスポーツビジネスの拡大を目指し、国際的な大型イベントの取扱いや、スポーツを

通じた地域振興事業に取り組んでまいります。

個人旅行事業においては、平成23年1月に個人旅行事業本部カンパニーを新設し、個人旅行全体のマーケティング機能を強化するとともに、インターネット販売の拡大を進めます。加えて平成23年夏に新しいコンピュータシステムを稼働させ、販売拡大および業務効率向上につなげてまいります。

さらに訪日旅行部および株式会社KNT ASIAを中心として、海外拠点と連携した中国、アジアからの訪日旅行取扱いの拡大を図ってまいります。

費用面においては、拠点の統廃合および要員の適正化などにより、固定費用の圧縮を進めてまいります。

なお、平成24年には本社を移転し、これを機に適正規模かつ効率的な本社機能の確立を目指します。

そして当社グループ全体の収益力の向上に努めるとともに、グループ共通の行動規範として、「コンプライアンスの強化」「常にお客さまの立場に立つこと」を掲げ、「KNTブランド」の強化につなげてまいります。

当社グループ一丸となってこれらの諸施策をスピードをあげて実施することで、業績の向上を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月



## 事業別の概況

当社グループの事業別の概況は、次のとおりです。

### 旅行業

#### 国内旅行

団体旅行につきましては、一般団体は、「平城遷都 1300 年祭」や「世界柔道選手権 2010 東京大会」などの大型イベントの取扱いに積極的に取り組みましたが、前年を下回る結果となり、学生団体は前年に比べ微増であったものの、全体としては振るいませんでした。

個人旅行につきましては、メイトは、「平城遷都 1300 年祭」への取組み、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の効果およびインターネット販売による一定の成果はありましたが、宿泊企画商品などが振るわず、全体としては前年を下回る結果となりました。

#### 海外旅行

団体旅行につきましては、一般団体は、「FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会」などの大型イベントの取扱いに努め、学生団体は、新型インフルエンザにより取消しとなった海外研修等の再実施に向けた営業活動を行った結果、全体として前年を大きく上まわりました。

個人旅行につきましては、ホリデイは、政治問題によりアジア方面が影響を受けたものの、インターネット専用商品の販売、ミクロネシア等へのチャーター商品の展開に加えヨーロッパ方面が好調に推移し、前年を上まわりました。

外国人の訪日旅行は、「NHK杯フィギュアスケート」等の大型イベントに取り組んだほか、中国、アジアからの訪日旅行に注力した結果、前年を大きく上まわる実績をあげました。

これらの結果、旅行業全体の営業収益は、次のとおりです。

	営業収益 (百万円)	前期比
国内旅行	42,238	5.1%減
海外旅行	25,871	11.0%増
その他	6,522	5.6%増
消 去	△ 12,263	—
合 計	62,368	1.0%増

### 損害保険業

損害保険業の営業収益は、次のとおりであり、前期を上まわりました。

	営業収益 (百万円)	前期比
損害保険	1,176	10.7%増



## TOPICS

### スポーツ事業部を新設し、新規需要を開拓

KNTは平成22年4月1日、スポーツ事業部を新設しました。オリンピックやFIFAワールドカップ™、その他大型国際スポーツイベントに関する仕入れ、契約、提携の推進体制を強化しました。

また、観光庁のスポーツツーリズム推進事業\*に呼応し、地域振興のためのスポーツイベント誘致への調査・計画、旅行商品の企画販売、広報活動などのノウハウを提供していきます。

\*観光立国の実現を目指し、国際試合など魅力あるスポーツイベントの開催を通じて、国内外の観光客を誘致するために、観光庁が推し進めている事業。

### 中国などからの訪日旅行の取扱いを強化

KNTは平成22年12月、中国・アジア方面からの団体・個人旅行を取り扱うKNTの100%子会社として(株) KNT ASIA (本社:東京) を設立しました。

また平成23年1月1日には、訪日旅行部を新設しました。訪日旅行事業の戦略部門の強化と、訪日旅行者受入れ事業の機動性向上を図ることで、今後も増大が見込まれる外国人旅行者の取扱い拡大を目指します。

### 店舗型旅行業の中で、顧客満足度第1位を獲得

サービス産業生産性協議会(公益財団法人日本生産性本部の内部組織)による平成22年度の日本版顧客満足度指数の調査において、(株) KNTツーリストは店舗型旅行業で第1位を獲得しました。



### 法然上人・親鸞聖人遠忌法要 団体参拝旅行への取組み

KNTの創立間もない昭和36年に東本願寺・西本願寺を中心として親鸞聖人700回遠忌法要が行われました。その団体参拝旅行は、年間総売上高98億円のうち実に1割を占め、今日のKNTを築いた礎にもなっています。

本年は「法然上人800回遠忌法要」・「親鸞聖人750回遠忌法要」が行われ、知恩院・東本願寺・西本願寺合計で50万人もの参詣者が見込まれています。

その中でKNTは、西本願寺75,000人、東本願寺41,000人、

知恩院8,500人と、全体の30%近いご契約をいただくことができ、売上高も60億円を超え、業界ナンバー1の契約数を誇っております。

この団体参拝旅行のため、毎年セールス担当者による各本山や法然上人・親鸞聖人のご旧跡の勉強会を続けてまいりました。

いよいよ各本山の法要も始まりです。KNTの本領を發揮し、お客さまにご満足いただける安全・安心な団体参拝旅行の実施を目指します。

# 創造する舞台裏

Vol.6

を

## KNTのツアーづくり（海外旅行編）

世界中の文化にふれることができる、KNTの海外パッケージツアー「ホリデイ」。それぞれのエリアを受け持つ企画担当者が約2カ月の準備期間をかけて、魅力あるツアーづくりに取り組んでいます。

### 1 ツアー企画の決定

魅力的なツアー企画は、日頃から旅行の記事・番組に接し、他社のツアーにも参加して情報感度を高め、企画者の感動や経験を通じて考えることが大切です。お客様の目線で好ましいホテルや移動手段、食事場所や観光地などを検討し、スケジュールのバランスも考えて企画を練り、会議での了承を経て決定されます。



EUROPE



旅のバリエーションと安心感がKNTのツアーが選ばれる理由の一つになっています。

※現地の宿泊施設や交通手段などを手配する専門会社

### 羽田発ツアーが好調です

羽田空港の国際化に合わせて、KNTでは平成22年10月から羽田空港発着商品を展開しています。夜間出発ツアーが好評で、ビジネス客層の獲得にも大きく貢献しています。

### 2 航空会社やホテルとの交渉



企画したツアーが狙いどおり実現するように、社内の航空関連担当者や社外のランドオペレーター※と協力して、フライトプランやホテル、現地での食事場所や交通手段を組み合わせ、具体的なコース・料金設定を固めていきます。価格だけでなくホテルや空路設定にも安心感を感じられる良いツアーとなるように、ここが力の入れどころです。

### 3 パンフレット作成

デザイナーと協力してパンフレットを作成し、ツアーの魅力をしっかりとお伝えしていきます。ホテルにある備品などの詳細情報はもちろん、写真を多用して視覚的に見やすくしたり、実際に現地で体感した魅力を存分に伝えるなど、お客様の期待感を高めるさまざまな工夫をしています。

### 4 販売

企画したツアー商品への評価は、販売成果となって現れます。また、現地を紹介したTV番組が商品の売行きに影響することもあるので、欠かさずにチェックし、Web専用商品などで迅速に対応しています。

### 5 お客様アンケート

KNTでは、お客様の満足度を常に追求しています。お客様アンケートを実施するなど、お客様から寄せられるご意見は必ずチェックし、「楽しかった」「また行きたい」とおっしゃっていただける商品を提供できるように心がけています。

### お客様に楽しんでいただけるツアーをとことん追求

3年間アジアを担当した後にヨーロッパ課に配属となり、配属後初の企画となるトルコツアーを作りあげました。お客様にとって何が嬉しいのかをとことん考えた甲斐もあり、大変に好評です。お客様の声の一つひとつ大切に、これからもKNTに寄せられるお客様の期待に応えられるツアーづくりをしていきたいと思ひます。

海外仕入商品企画事業部 ヨーロッパ課 佐藤 香



**連結貸借対照表**

(平成22年12月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債および純資産の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>71,218</b>	<b>流動負債</b>	<b>85,235</b>
現金・預金	20,314	営業未払金	10,196
預け金	15,000	未払金	3,748
受取手形及び営業未収金	17,810	未払法人税等	281
未収手数料	5,346	預り金	18,982
未渡クーポン	852	未精算旅行券	36,839
商品	42	団体前受金	11,961
貯蔵品	43	繰延税金負債	28
前払費用	1,005	賞与引当金	205
団体前払金	9,888	その他	2,991
繰延税金資産	57	<b>固定負債</b>	<b>6,481</b>
未収法人税等	11	退職給付引当金	1,430
その他	893	旅行券等引換引当金	1,394
貸倒引当金	△47	その他	3,657
<b>固定資産</b>	<b>22,859</b>	<b>負債合計</b>	<b>91,717</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,195</b>	<b>株主資本</b>	<b>2,532</b>
建物	1,340	資本金	7,579
土地	2,273	資本剰余金	4,812
その他	581	利益剰余金	△9,703
<b>無形固定資産</b>	<b>5,001</b>	自己株式	△155
ソフトウェア	1,635	<b>評価・換算差額等</b>	<b>△281</b>
ソフトウェア仮勘定	2,913	その他有価証券評価差額金	△61
のれん	321	繰延ヘッジ損益	△243
その他	130	為替換算調整勘定	23
<b>投資その他の資産</b>	<b>13,663</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>110</b>
投資有価証券	2,605	<b>純資産合計</b>	<b>2,361</b>
長期貸付金	307	<b>負債および純資産合計</b>	<b>94,078</b>
差入保証金	5,134		
繰延税金資産	241		
その他	6,099		
貸倒引当金	△725		
<b>資産合計</b>	<b>94,078</b>		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**連結損益計算書**

(平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
<b>営業収益</b>	<b>63,544</b>
<b>営業費用</b>	<b>61,908</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,636</b>
<b>営業外収益</b>	<b>468</b>
受取利息	223
受取配当金	40
持分法による投資利益	10
その他	194
<b>営業外費用</b>	<b>533</b>
支払利息	140
為替差損	380
その他	13
<b>経常利益</b>	<b>1,571</b>
<b>特別利益</b>	<b>7,709</b>
退職給付制度改定益	6,407
固定資産売却益	734
その他	567
<b>特別損失</b>	<b>8,837</b>
退職給付制度終了損	7,230
投資有価証券評価損	551
店舗閉鎖損失	355
固定資産除却損	192
その他	507
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>443</b>
法人税、住民税及び事業税	346
法人税等調整額	△121
少数株主損失	95
<b>当期純利益</b>	<b>314</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**連結株主資本等変動計算書**

(平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)

(単位:百万円)

	平成21年12月31日残高	連結会計期間中の変動額				連結会計期間中の変動額合計	平成22年12月31日残高
		当期純利益	自己株式の取得	持分比率の変動	株主資本以外の項目の連結会計期間中の変動額(純額)		
資本金	7,579				—	7,579	
資本剰余金	4,930			△118	△118	4,812	
利益剰余金	△10,017	314			314	△9,703	
自己株式	△158		△1	3	2	△155	
株主資本合計	2,333	314	△1	△114	198	2,532	
その他有価証券評価差額金	△90				29	29	△61
繰延ヘッジ損益	131				△375	△375	△243
為替換算調整勘定	△5				29	29	23
評価・換算差額等合計	35				△316	△316	△281
少数株主持分	214				△104	△104	110
純資産合計	2,583	314	△1	△114	△420	△221	2,361

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 企業理念

「KNTは世界中の人々の出会いと感動を創造し、  
笑顔あふれる社会の実現にチャレンジしていきます。」

企業ブランド名



企業ブランドロゴマーク



## ブランドステートメント

私たちは、お客さまにたくさんの「！」をお届けし、感動・笑顔・信頼の「物語」を創造していきます。  
お客さまの 感動×笑顔×信頼＝私たちの喜びです

1. 私たちは、お客さまの声に徹底的にこだわります!
2. 私たちは、明るい笑顔とまごころをもってお客さまに接します!
3. 私たちは、安全を優先し、お客さまに安らぎと安心をお届けします!
4. 私たちは、ネットワークとチームワークで一丸となって、お客さまの信頼に応えます!
5. 私たちは、熱意と創意をもって常に新しいことに挑戦します!
6. 私たちは、社会の一員であることを認識し、事業活動を通じて国際交流、環境保全、社会貢献に努めます!

## 会社概要

商号	近畿日本ツーリスト株式会社	取締役および監査役 (平成23年3月30日現在)
設立	昭和22年5月	取締役会長 山口昌紀
創立	昭和30年9月	代表取締役社長 吉川勝久
本社	東京都千代田区神田松永町19番の2	代表取締役専務 馬越俊司
	電話番号 (03) 3255-7115	常務取締役 市井正之
資本金	7,579百万円	常務取締役 遠藤昭夫
発行済株式総数	96,175,121株	常務取締役 小川亘
		取締役 野中雅彦
		取締役 今井克彦
		取締役 権田昌一
		取締役 田ヶ原 聡
		取締役 向山 秀昭
		取締役 西野目 信雄
		取締役 辻本 博圭
		監査役(常勤) 中辻 康裕
		監査役(常勤) 富田 誠司
		監査役 岸田 雅雄
		監査役 植田 和保



## 株主メモ

単元株式数	1,000株	上場証券取引所	東京・大阪 市場第1部
事業年度	1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
基準日	定時株主総会関係 12月31日 期末配当支払株主確定関係 12月31日 中間配当支払株主確定関係 6月30日 その他 あらかじめ公告する日	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	3月中	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 <a href="http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku">http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku</a> ただし、電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載		

## 株式に関する手続きについて

### 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>■特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>■単元未満株式の買取請求</li> <li>■住所・氏名等のご変更</li> <li>■特別口座の残高照会</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関  三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)  <b>[手続き書類のご請求方法]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■音声自動応答電話によるご請求 (0120) 244-479 (フリーダイヤル)</li> <li>■インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>■支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>■株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人

### 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>■郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>■支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>■株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人  三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
■上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。